

## お祝いのメッセージ

新入生の皆さん、そして保護者の皆様、聖セシリア女子中学校・高等学校へのご入学おめでとうございます。皆さんが聖セシリアの一員となりますことを大変嬉しく思っております。本校教職員と在校生を代表してお祝い申し上げます。

本来ならば入学式で皆さんと直接お目にかかり、お祝いの言葉をお伝えすべきところでしたが、新型コロナウイルス感染防止のため緊急事態宣言が発出され、今なお安全かつ安心して登校できる状況には至っておりません。入学式の延期をお知らせいたしましたのは、5月連休明けには保護者の皆様と共に門出をお祝いしたい、という思いからでした。しかし、感染に伴う社会の動きに回復の兆しが見えず、また、学校再開後は、授業や行事の遅れを取り戻し、いち早く通常に近い形で取り組まなければならない状況です。したがって、本当に残念ではございますが、入学式中止という決定をしなければなりませんことを深くお詫び申し上げます。

すでに4月後半となっておりますが、新入生の皆さんにお祝いのメッセージをお伝えいたします。

去る3月2日、令和元年度の卒業式を執り行いました。新型コロナウイルスの影響で全校を挙げてお祝いする事ができませんでした。その中で、卒業生の代表生徒から謝辞（お礼の言葉）をいただきました。今回は卒業生・保護者・教職員での実施でしたので、在校生の皆さんにあてた内容は省略されましたが、原稿にはお礼のメッセージが記されておりました。

その内容は、「在校生の皆さん、今日まで私たちとともに歩んでくださりありがとうございました。みなさんと過ごした一つひとつが大切な思い出です。皆さんの存在や笑顔のおかげで何度も明るい気持ちになりました。これから先、思い通りに物事が進まず悩み、苦しむ時があるかもしれません。しかし、皆さんには乗り越える力が必ずあると信じています。さらに、親身になって相談に乗ってくださる先生方や声を掛け合う仲間もいます。そのことを忘れず、常に周囲の人に感謝して、充実した学園生活を送ってください。」というものでした。

式の中で読まれるためにコンパクトにまとめられていますが、代表生徒の心のこもった素直な思いが溢れていてとても感動しました。このように感謝できることは素晴らしいことだと思います。中高6年間は楽しいことばかりではありません。辛いことや面白くないこともあるけれど、そのすべてが自分を振り返る材料となり成長の糧となっている。成功も失敗も全て自分で受け止めて、悔いのないようチャレンジしてこなければ言えない言葉だと感じました。皆さんも何かをやり遂げた時、「よく頑張った、自分を支えてくれた全てのものに感謝」と言えるように頑張ってください。「いつも感謝の気持ちを持って」「感謝の気持ちを忘れずに」を心に留めて、これからスタートする学校生活を送ってください。

新型コロナの影響で不測の事態が多く、例年通りに聖セシリアのプログラムを実行することは困難です。しかし、何もやらずに1年間を終えるわけにはいきません。皆さんも「この状況では何もできない」と決めつけるのではなく、この状況だからこそ「何ができるのか」「どんなことが準備できるか」を自分で考え、心を強く持って取り組んで欲しいと思います。このような期間だからこそ、「ココロとカラダとアタマに栄養を」与える時間をとってください。本を読んでココロを豊かにしたり、無理のない程度に体操やランニングをして健康なカラダを維持したり、授業で教えてもらう勉強から自分で考える勉強に切り替えてアタマに刺激を与えたり、家時間を有意義に使ってください。平常に戻った時に必ず役に立つはずですよ。

皆さんのいない静まりかえった学校はとても寂しいです。この状況が一日も早く収束し、制服を着て元気に登校してくる皆さんとお目にかかれる日を、教職員一同楽しみにお待ちしております。

ご入学おめでとうございます。

令和2年4月28日

聖セシリア女子中学校・高等学校  
校長 森永 浩司